

# 糖尿病の治療

【質問】私の父は糖尿病で診療所に通院していますが、糖のコントロールがうまくいっていないようです。専門医に相談したいのですが、どうしたらよいでしょうか。  
(38歳・主婦)



## 一般医と専門医が連携

【回答】通常は近所の診療所で診てもらい、糖の状態がひどく悪化したときは専門医に紹介してもらいたいとの希望ですが、もちろん可能です。かかりつけの医師と相談してください。

糖尿病が年々増加し、しかも重症患者が増えている現状では、一般診療医の質を高めるとともに、患者の病状に応じてより気軽に一般診療医から専門医に相談できる仕組みが必要となります。本県では県や医師会、専門医療機関、栄養士などが参加して、医療連携を再構築する体制づくりに着手しています。

と、本県の糖尿病および予備軍の推定者数は二〇〇二年の十八万人から〇六年には二十一万人に増えましました。糖尿病は国民病といわれますが、本県も例外ではありません。

糖尿病の医療連携のポイントは二つあります。一つ目はやはり役割分担です。最初にインスリンを導入する場合や糖のコントロールが難しい患者の場合は、専門医に任せるようになります。インスリンは必要でも病状が安定した患者は一般診療医が管理し、多忙な専門医の負担を軽くするようにします。

うそく)や脳梗塞の原因になります。糖をコントロールすることは、これら回復困難で、時には死に至る合併症を防ぐことにつながります。

## 本県でも体制を再構築

り扱いに気を使うインスリンの調整ができる一般診療医を養成する必要があります。そして、専門医と一般診療医は研修会を定期的に開き、顔なじみとなって気軽に相談できる体制をつくる必要ががあります。二つ目は、健診で見つかった予備軍を含む糖尿病の患者が確実に治療を受けられ、また、途中で治療の中断がないような体制をつくることです。四月から「特定健診・保健指導」が始まったこともあって健診率が伸びており、新しい患者が大幅に増えることも予想されます。糖尿病の患者に本心に役に立つ医療を目指し、体制整備を急ぎたいと考えています。

います。従来も医療連携は行われていました。しかし、

国民健康栄養調査による

末梢(まっしょう)神経に害を及ぼし、心筋梗塞(こ

その実現のためには、取